

地震防災教育 家庭の備えから

防災・減災

発行所：はやぶさ地防会
 編集者：代表者 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878
 FAX 0561-51-2879

平成二十四年度校区地震・防災訓練

平成二十四年十一月四日(日)
 本地原小学校校区
 防災訓練には、はやぶさ地
 防会も参加しました。
 時間は午前七時からスタートで
 午後一時三十分迄には終了し
 ました。
 毎年四百名位り参加でしたが
 今年は三百名位で昨年より少な
 くなってきました。今回は連休との
 関係が大きい減数を生んだと思いま
 す。

参加者全員に
 非常食配布。
 ▼



▲町内妻長
 につき
 手渡した
 非常食
 袋も持っ
 て参加す
 る。



「災害時に大切な
 ことは、
 食糧をいかに確保
 して避難する来た
 入達にスムーズに
 与えることが可能
 になるか配分の方
 向の練習など
 体験しました。」

▲いきなり煙道入り。

現状の被災地では
 高齢者が多くこの
 人達を誘導したり
 水食糧を確保して
 与える活動も大変
 です。避難する場所
 にはトイレ車椅子等か
 など若い人達の協力
 も必要です。
 このよう訓練には中学
 高校生も加わって実
 践的にみながら動
 き廻る
 ことが必要です。
 最近ではボランティア
 チームには若い人達が多
 くなっています。な
 が町内では参加出来
 ない場があり、この若手
 参加はしる打破する
 努力することである。



▲各自に食糧配分がポイント組立。
 小学生のバケツ訓練(バケツ消火訓練)

